

連載



未来への扉22

こども・子育て世代向け
のお薦めの本を、図書館司
書が紹介します。
問 ほんぽーと中央図書館
(☎025-246-7700)

にいがた市
電子図書館

『モチモチの木』

作: 斎藤 隆介 絵: 滝平 二郎
出版社: 岩崎書店 発行年: 1971年
市内図書館所蔵数: 25冊

概要

豆太はおじいさんと山で暮らす
ちょっぴり怖がりな男の子です。
夜のトイレへ1人で行けないほど
臆病な豆太でしたが、ある晩、病
気のおじいさんを助けるため、勇
気を出して夜道を駆け下り、医者
を呼びに行きます。帰り道、豆太
は勇気のあるこどもだけが見られ
るという、モチモチの木が光る光
景を見たのでした。

紹介した本の
詳細はこちら

おすすめポイント

出版から半世紀にわたり世代を
超えて愛され続けている本です。
甘えと自立を繰り返しながら、成
長する子どもの姿が描かれ、温か
く見守る大きさを教えられます。
切り絵風の挿絵が美しく、モチモ
チの木が輝く場面では、豆太の心
の変化が印象的に表現されています。

電子書籍版では、パソコンやスマ
ートフォンから気軽に読むこと
ができます。親子で感想を話し
合ってみてはいかがでしょうか。

年末大掃除のごみ 出し方を再確認しよう

年末の大掃除などで家庭から出たごみは、資源とごみに正しく分別して
処分しましょう。

問 廃棄物対策課(☎025-226-1407)



POINT 1

特定5品目(乾電池類、蛍光管、水銀体温計、
ライター、スプレー缶類)

- 指定の日に、中身の見える透明か半透明の袋に入れて出す
- ライターとスプレー缶類は必ず使い切る



電池やバッテリーを取り外せない製品は「特定5品目」へ

電子たばこやモバイルバッテリーなどの充電式の
家電製品を、燃やさないごみで出したことが原因の
発火事故が発生しています。収集員や周囲の安全の
ため、必ず分別をしてください。

電池類を取り外せないときは、無理に分解せず、
製品本体ごと「特定5品目」として出してください。



POINT 2

プラマーク容器包装

- 指定の日に、中身の見える透明か半透明の袋に入れて出す
- 中身を使い切り、汚れを取り除いてから捨てる
- 汚れが取れない場合は「燃やすごみ」へ出す

※プラマーク=右の付いていないもの、プラスチック製品そのものは「プラマーク容器包装」に出せません。「燃やすごみ」へ出す



連載

いきいきシニア 6



地域とつながり、生き生きと活動するシニアを紹介します。

今回は、秋葉区金津地区で防災士とし
て活躍する齊藤憲作さん(75歳)です。

▶防災士のほか、地域教育コーディネーターと
しても活動する齊藤さん。
「こどもたちとの交流が、私の元気の源です」

心の声に背中を押されて

長年地域の安全や暮らしを支える
仕事をしてきた齊藤さん。2011年
の定年退職後、東日本大震災の様子
をテレビで見て「自分にできること
はないか」と考え、地元の秋葉区金
津地区で地域の安心・安全を守る活
動を始めました。2018年には防災
士の資格を取得し、防災訓練や出前
講座に積極的に取り組んでいます。



自分を大切に、日々精進

「人の命に関わることだから、いい
かげんなことは言えない」と日々学
び、家の中の危険や日常の備えの大
切さを地域住民に伝え続ける齊藤さ
ん。毎年開催する防災訓練は約200
人もの地域の人が参加しています。
顔の見える関係が協力意識を高め、
地域の安心につながっていると感じ
ています。

齊藤さんは「自分が健康でいるこ
とが活動の基本。無理なく続けられ
る範囲で、できることを精一杯地域
のためにやっていきたい」と笑顔で
語ってくれました。

◀災害時に必要な簡易トイレの組み立てを実演
する齊藤さん

「ごみ関連チャットボット」の活用を

ごみの分別方法や収集日、粗大ごみの処理手数
料などの問い合わせにAI(人工知能)が自動で回答
します。パソコンやスマートフォンから24時間
利用することができます。



LINE版は こちら WEB版は こちら

POINT 3 粗大ごみ

- 粗大ごみ受付センターにインターネットか電話で収集を申し込む
- 粗大ごみ処理券を購入する(市内スーパー・マーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストアなどの小売店や区役所、出張所で販売)
- 処理券を見える所に貼り、収集日の8時までに指定の場所に出す

粗大ごみ受付センター

☎025-290-5353 FAX 025-290-5371 (聴覚障がい者など専用)

受付時間 9時~17時 ※日曜、祝・休日、12月29日~1月

3日除く。インターネットでの申し込みは24時間受け付け。

年末年始の電話受け付けは大変混みます。日にちをずらして連絡するか、インターネット受け付けを利用してください



詳しくは こちら

POINT 4 古紙類

- 品目ごと(新聞、雑誌・雑がみ、段ボール、紙パック)に分けて出す

新聞: 四つ折りにし、まとめてひもで十文字にしばる

※折り込みチラシも可

雑誌・雑がみ: まとめてひもでしばる、または、中身の見える透明・半透明
の袋に入れて出す

段ボール: 折り畳み、まとめてひもで十文字にしばる

紙パック: 水洗いして切り開き、乾燥させる

大きさをそろえて、ひもで十文字にしばる

- 汚れた紙、防水などの加工された紙、臭いのついた紙は「燃やすごみ」へ出す

新潟市LINE公式アカウントで確認しよう

